

とうべつ

議会だより

No 174

平成25年8月1日発行



晴天の中行われた第30回夏至祭(6月22日)



ファイターズのマスコットB・Bが当別町に来た(7月9日)



今年は北海道医療大学とタイアップ YOSAKOIソーランの踊りが華を添える 夏のaiパーク2013(7月6日)



当別町に亜麻の花が満開 第6回北海道亜麻まつり in 当別(7月14日)

第3回 定例会

平成25年6月

6月定例会	2
委員会構成	3
委員会活動報告	4~5
一般質問	6~8
研修会報告	9
議会のうごき・編集後記	10

平成25年第3回当別町議会定例会

平成25年第3回当別町議会定例会は、6月11、14日の2日間の日程で開催、平成24年度一般会計補正予算などの専決処分、平成25年度一般会計補正予算、条例の制定、ロータリ除雪車購入などを承認・可決した。一般質問では、3名が質問を行った。

また議会初日に任期満了に伴い、各委員会の選任を行った。(詳しくは3P)

議案の内容

6月補正予算 議案第1号 平成25年度当別町一般会計補正予算(第1号)

歳出の主なもの

ふとみ保育所施設修繕工事	2000万円
経営体育成支援事業	1255万円
青山交流館維持補修費	684万円
太美西4丁目線道路改良工事	600万円
	など

議案第2号

当別町子ども・子育て会議条例制定

子ども・子育て支援法の制定に伴い、本町の子ども・子育て支援事業計画の策定やその実施状況の進捗管理など調査、審議する機関として当別町子ども・子育て会議を設置するため、条例を制定する

議案第3号

当別町道路線変更

当別ダム建設事業に伴い、町道中小屋線、青山中央線、町道長寿園線についてそれぞれ終点を変更するため

議案第4号

ロータリ除雪車購入契約

平成25年5月31日、5社による指名競争入札に付し、ナラサキ産業株式会社北海道支社が落札したので、同社と購入契約をするため議会の議決を得る

議案第5号

平成25年度当別町国民健康保険特別会計補正予算

予算の増額

議案第6号

北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更の協議について

組織する団体に変更が生じたため議会の議決を得る

議案第7号

北海道市町村総合事務組合規約の変更の協議について

組織する団体に変更が生じたため議会の議決を得る

※すべて全会一致により可決

委員会構成の改選

第3回定例会初日で任期満了に伴い、各常任委員会・議会運営委員会・議会広報特別委員会の改選を行いました。

総務文教厚生常任委員会



委員長 市川 正
副委員長 小早川 孝男 後藤 正洋 神林 俊一 石川 和栄 山田 明

※宮司委員は6月28日、
渋谷委員は7月10日に議
員辞職したため2名欠員。
(8月に補充予定)

産業建設常任委員会



委員長 稲村 勝俊
副委員長 古谷 陽一 柏樹 正 竹田 和雄 島田 裕司 桐井 信征 岡野 喜代治 臼杵 英男

議会運営委員会

- 委員長 神林 俊一
- 副委員長 岡野 喜代治
- 委員 柏樹 正
竹田 和雄
桐井 信征
臼杵 英男
稲村 勝俊

議会広報特別委員会

- 委員長 柏樹 正
- 副委員長 山田 明
- 委員 小早川 孝男
石川 和栄
古谷 陽一

※宮司委員の辞職に伴い、古谷委員が後任に選任
されました。

委員会活動報告

産業建設常任委員会 (6月12日開催)

6月定例会議案

現地視察



町道青山中央線の視察



町道中小屋線の視察

議案第3号、当別町道路線変更について、現地視察を実施 (場所はそれぞれ青山地区)

質疑応答

経済部関係

Q 青年就農給付金事業は今年からの事業か。また募集要件は。

A 昨年からの制度はあったが、当別町は今年からである。45歳未満で独立して経営主になること。親元へ後継者として入る場合は該当にならない。

Q 経営体育成支援事業の10件の金額は。

A 総事業費約4,188万円。

Q 経営体育成支援事業は生産組織として該当になるのか。

A 個人の農家でも申請できる。

Q 緊急雇用創出事業を行うということだが、町内の企業に委託をするのか。

A 町内の業者で進めたい。

建設水道部関係

Q 町道長寿園線の路線変更について。

A 長寿園の民営化等に伴い、町道を約17m変更(廃止)する事務処理が発生したため。

Q ローター除雪車入札参加企業と購入の入札率は。

A 下段モータース、北成自動車、ナラサキ産業、日本除雪機製作所、北海道川重建機札幌支店。入札率は84.38%である。

総務文教厚生常任委員会 (6月13日開催)

6月定例会議案

質疑応答

福祉部関係

Q 子ども・子育て会議は、まちの未来推進室と連携が取られているのか。

A 事業計画策定にあたり、役場内関係部局の職員で構成する検討委員会を設置しながら、横断的な連携によって計画策定する考えである。

A 社会教育施設として活用、利用者の減少、施設の老朽化により、平成17年度から休止。

Q 現在休止中で、施設の補修を行うにあたり、今後の利用計画等はあるのか。

A 当初、道に活用計画があったが財源が厳しく改修費等の措置は難しいと、また水道、排水、電気関係の設備投資などで採算が取れないので民間活用は実現していない。

教育委員会関係

Q 青山交流館の目的、利用頻度はどれくらいか。

付託案件

■ 札幌航空交通官制部の存続・充実を求める陳情書

提出者 国土交通労働組合 北海道航空支部 執行委員長 橋口 千舟

定例会初日に、総務文教厚生常任委員会に付託された陳情書について審議を行いました。今後、さらに内容を検討するため継続審議となりました。

表彰



定例会初日、高谷議長が地域の振興発展に15年以上にわたり寄与された功績が認められ、全道町村議会議長会から表彰され、伝達が行われました。

一般質問



町内会長と行政推進員について

桐井 信征 議員

町長 地域づくりに大切な事は「地域住民のため」ばかりでなく「地域住民の手によって」行われることである

3期12年を通して実現できた事、やり残した事は

12年前、初当選され、町長は様々な政策の実現、町民との融和を図る各種イベントの参加の呼びかけ、早期健全化団体の4つの指標を見事にクリアされ、健全化に向けた行政指導は高く評価する。3期12年を通して、町長が政策及びやりたいと思っていた事はどの程度実現出来たと思うか。また、やり残したと思う事はあるのか伺う。

町長 自身の政策をどの程度実現できたのかと言うことに、本人が何%達成しましたとは答える事はできないが、「目標に向かって前進し続けて参りました」とは自信を持って答えられる。

やり残したと思う事はあるのかという質問については、やり残したというのではなく、「活力に満ちた美しいまち」の実現の為に、私たちは「自立自尊」の気持ちで自分たちでコミュニティを築いていかなければならないと思うので、自分は何もしないけど安心で美しい町は欲しいと願う人ばかりでは、地域コミュニティは持続しない。北海道144の町村は連携し協力し合って、それぞれが自立して発展する為に、これからの当別町の議会も理事者も活動し続けていきたいと願っている。

町内会長と行政推進員への各種団体からの人選依頼について

町は行政推進員制度を取り入れているが、40の行政区のうち、39の行政区で町内会長が行政推進員を兼務している現状にある。3月29日に議会報告会を開催し、懇談の中で町内会長から様々な意見を伺った。懇談の中で行政や諸団体から委員の人選依頼が多くあり、対応に苦慮している話が出た。町や関係している団体で、町内会へ人選をお願いしている数はどのくらいあるのか。

また、町の公式行事への参加依頼など、高齢化が進み、人選にも苦慮している町内会にとって、これらのことが負担となって町内会役員の担い手がいないという悩みを聞いた。町を維持していく基本単位である町内会の負担軽減を図るべきと考えるが、町長の考えを伺う。

町長 当別町のまちづくりを進めていくうえで、防災、防犯、高齢者支援、交通安全など身近で大切な課題が数多くあるが、これらの課題を解決していくため、行政推進員、保健推進員や民生児童委員の各委員を町内会に推進依頼し、協力を頂いているところである。また関係団体では当別町社会福祉協議会の福祉委員や当別町交通安全推進委員会の交

通安全実践委員、日本赤十字社の協賛委員などがある。そして、地域の課題を解決していく町民と行政の協働のまちづくりを推進するため、町内会活動をサポートする地域担当職員制度を平成21年度に創設し活用していただき、町内会は、地域住民の交流と親睦を深めながら明るく住み良い地域づくりを目指し、自主的に組織され、年間を通し様々な活動を繰り広げている。このような中、町内会会長の町内会の負担軽減を図ることが最良とは思っていない。私は住民参加の行政を推進しており、地域づくりに大切な事は「地域住民のため」ばかりでなく、「地域住民の手によって」行われることである。



多くの町内会長さんに参加を頂いた議会報告会



本当に必要なところに町民の声を聴いて、手立てを尽くした上での健全化になっているのか

渋谷 俊和 議員

町長 町の健全化に関わる質問はすでに答弁済みである

憲法問題について、天皇を元首とするとか自衛隊を国防軍になど、憲法についての論議を賑わしまた、改正の国会発議も3分の2から半数の賛成にと切り下げる条件緩和の声まで出ているが、私は泉亭町政の中で憲法を擁護する立場から質問する。

これは平成23年6月議会でも取り上げたがスウェーデン大通橋にSGI会長池田大作名の入った町作成の看板について、前回の答弁は町に対する貢献者とか金額も小額なので問題無いということだったがそれでは

1 金額の問題かそうだとしたらその基準は
2 貢献された方が基準としたら、同じくどのような貢献をされたら名前を表示するのかその基準は
同時に役場職員（公務員）も憲法を守る立場が義務付けられているが、誰一人として町長に疑問を述べた者がいなかったのか。いずれにしても早急にその名前部分は外す処置を取るべきだと思うが町長の見解を伺う。

次に人間らしく生きる権利の基本になっている衣食住の住の問題、町営住宅について伺う。何回か取り上げているが改善されていないので改めて伺う。

もみじ団地から現場を見て欲しいと呼ばれ写真も撮ってきたが、天井も落ちて隙間ができ、ぶら下がっており、集合煙筒は外に煙や

火が出るほど崩れ落ちている。窓ガラスの枠が腐ってガラスを止めるサンに釘が効かないため、ゴワゴワの状態、冬は寒くてとても住めないのではなんとか秋までに直して欲しいと集まった4人の方が口々に言っていた。

次に除排雪問題です。多くの住民は3回目の除排雪費が自己負担になってからむしろ悪くなっているという声が町民から寄せられている。人口減少対策とも密接に関係する。

札幌圏の中でも当別町は除排雪が行き届き安心して住むことができるという評判が立てば少子高齢化社会だが、自然豊かで除排雪を含めて安全安心の町、当別をアピールできる。

将来を担う子どもたちの問題で、西当別のプールを廃止したが、復活させることが大事ではないか。財政健全化だが、本当に必要なところに町民の声を聴いて、手立てを尽くした上での健全化になっているのか。無駄がないのか、自ら身を削る努力が見えてこない。この点町長はどう考えているか伺う。



ガラスの枠が腐り釘が効かない



崩れ落ちている集合煙筒

町長 スウェーデン橋のプレートや町営住宅についての質問について、この件は平成23年6月の第3回定例会の質問と同じであり、あの時点で、誠心誠意答弁した通りで日本国憲法に抵触するような重大なことは一切ないので、私の見解は変わらない。

町の財政健全化に関わる質問もすでに答弁済みなので、議事録や議会だよりで確認して下さい。



まずは、公共施設でもっと美化、環境運動をすべきである

島田 裕司 議員

町長 公共施設周辺住民の方々の協力などで美化活動も必要と考える

美しい町づくり政策の検証について

美しい町づくり条例を制定している町なのに公共施設などは花一つ植えられていなく残念である。特に町内外の人が多く来庁される役場庁舎は、町の顔とも言えるので、花などを植え花の町をPRすべきである。その他、総合体育館周辺の白樺コミセン、旧和風庭園、ゆとろ、商工会の前のふくろう図書館、西当別コミセンなども花が植えられてなく、非常に殺風景である。また、当別駅南口の自転車置き場の屋根の腐食が進んでいたり、太美駅前の自転車置き場の駐輪止めも非常に錆びている。旧青少年会館、現プレイハウスも駐車場後地は草が生えている状況である。

これらの公共施設については、もっと積極的に環境美化に対する運動を町がすべきでないのか伺う。

町長 当別町財政運営計画、当別町協働の指針、当別町ゴミ減量化アクションプラン、当別町景観計画など、20以上の計画・プランを策定した。すべての計画は、担当課でプランの原案を作成し、部内で検討、必要に応じて町民から意見を聴き、役場内の政策調整会議や政策評価本部会議などで

最終的に決定・予算化し、議会の審議を経て執行する行政スタイルなので、私が一人で何かを独断的にやるということはまったくない。美しいまち当別をみんなで作る条例も、当別の「自然の恵み」と「開拓の営みによる当別の固有の生活文化」による魅力的な景観は貴重な財産であり、美しい姿で後世に引き継ぐ責任を町民一人ひとりが主役となって進めていく条例を制定し、また当別町景観計画を策定している。したがって、公共施設などハードを優先的に環境整備するというのではない。

しかし、公共施設はこの12年間ほとんど町職員のボランティアだけの手入れしか出来ず、今後は町の公共施設も外観や周辺整備が必要な所が相当あると思うので、公共施設周辺住民の方々の協力などで美化活動も必要と考える。

学校教育において青少年を派遣する場合、もっと支援をすべきである

中高生をはじめとする、スポーツ、文化活動、国際交流などの派遣に対する財政的支援をもっと積極的に行うべきでないのか。

当別町は、他の市町村と比べて積

極的に支援していると言われるような、町独自の支援体制を作ってはどうか。また、レクサンド市に中学生を派遣する事業は、平成13年に10名を派遣して以来11年間止まっている状況である。このことは、町の財政的な問題なのか、それとも交流事業の見直しを検討しているのか。レクサンド市側は青少年の相互交流を熱望していると聞いているが、なぜ実施しないのか伺う。最後に今年の11月に当別高校の生徒と教師がレクサンド高校に相互交流事業として行くと新聞報道されたが、町はどんな支援をするのか。私は何らかの形で支援すべきと思う。

教育長 日本中学校体育連盟または北海道中学校体育連盟が主催する全国・全道大会の運動競技及び文化活動に参加する中学生に対し、参加経費を補助しており、交通費及び大会参加費については全額補助、宿泊費は実費の2分の1以内としている。当別町の児童生徒が学力とともに、豊かな心や困難に負けたくないまじしい心、体づくり、スポーツや文化活動の技能を身に付け、高めることは大切なことと考え積極的に支援している。

レクサンド市との相互交流について、まずは、レクサンド市との提携・交流やレクサンド市のことを知ってもらうことが大切と考え、昨年レクサンド市訪問後、訪問によって得られた新しい情報を取り入れた資料やDVDを作成し、各学校に提供した。各学校において、レクサンド市の学習や外国人との交流等を通した国際理解教育を進めながら、当別町とレクサンド市との提携・交流を充実していく環境づくりに努めている。

なお、当別高校とレクサンド高校の初めての、青少年の相互交流について、町の人材育成基金を活用して助成する方向と聞いており、教育委員会としては、当別・レクサンド都市交流協会や町の関係部局などと連携していきたいと考えている。



花が少なく殺風景な役場庁舎

研修会報告

平成25年度石狩町村議会議員研修会(当別町 6月20日)



当別浄水場の管理室で職員からモニターの説明を受ける



講師の神山繁氏

石狩町村議会議長会主催による、当別町議会と新篠津村議会合同の議員研修会が開催され、当別浄水場の見学と北海道開発局建設部道路維持課開発専門官の神山繁氏を講師とした「橋梁等の予防保全について」の講演が行われました。

平成25年度北海道町村議会議員研修会(札幌市 6月27日)



札幌コンベンションセンターでの全道研修会

北海道町村議会議長会主催による、議員研修会が開催され、慶応義塾大学教授片山善博氏「議会改革に期待する」と政治アナリスト伊藤惇夫氏「今後の政局・政治展望」の講演が行われました。

議会のうごき (平成25年5月～平成25年7月)

5月		
H25.	5. 10	当別町議会改革推進協議会
H25.	5. 14	議会運営委員会 会派代表者会議
H25.	5. 20	釧路市議会会派行政視察来町
H25.	5. 22	会派代表者会議
H25.	5. 27	会派代表者会議
6月		
H25.	6. 4	議会運営委員会
H25.	6. 11	議会運営委員会 議員協議会
H25.	6.11～14	平成25年第3回定例会
H25.	6. 12	産業建設常任委員会
H25.	6. 13	総務文教厚生常任委員会
H25.	6. 14	議員協議会 議会広報特別委員会
H25.	6. 20	平成25年度石狩町村議会議員研修会
H25.	6. 24	当別町議会改革推進協議会役員会 議会運営委員会
H25.	6. 27	平成25年度北海道町村議会議員研修会
7月		
H25.	7. 2	議会広報特別委員会
H25.	7. 3	福島県猪苗代町議会行政視察来町
H25.	7. 4	会派代表者会議
H25.	7. 9	岩手県雫石町議会行政視察来町 新潟県新発田市議会行政視察来町
H25.	7. 11	議会広報特別委員会
H25.	7. 12	議会運営委員会
H25.	7. 16	会派代表者会議
H25.	7. 17	議会広報特別委員会 秋田県潟上市議会行政視察来町
H25.	7. 18	渡島西部4町議会議員連絡協議会行政視察来町 福島県北塩原村議会行政視察来町
H25.	7. 19	芽室町議会行政視察来町
H25.	7. 23	大阪府豊中市議会行政視察来町
H25.	7. 25	議会広報特別委員会
H25.	7. 30	長野県千曲市議会行政視察来町

定例会開催予定 次回の当別町議会定例会は9月上旬を予定しています。

編 集 後 記

町議会は、この2年間活発な議会改革の議論が行われ、

- 政治倫理条例の制定
- 議長公用車を無くし、共用車を活用
- 政務活動費の使途基準の明確化
- 議会報告会の開催
- 住民・団体の請願、陳情に対し、説明の場を設けることなどを実現・実施してきました。

8月2日から住民の期待を背負って新町長による町政が始まります。

議会も町政のチェック、建設的な議論で議会の役割・機能が発揮されるよう求められます。

「議会だより」も議会での論戦や委員会活動のよう

すなど、より住民にわかりやすく伝え、町民生活にも役立つようさらに工夫を重ねていきたいと思っています。
ご意見をお寄せ下さい。

議会広報特別委員会
委員長 柏樹 正



左から古谷委員 小早川委員 柏樹委員長 山田副委員長 石川委員